

久間がゆく

No.6

ウメザキシートメタル株式会社

配電盤などの精密板金に自信
メーカー目指し事業拡大へ



【写真左上】金属板を機械で加工する従業員【写真左下】本社社屋と工場【写真右上】長さ8m、高さ2.3mの巨大な制御盤を製作【写真右下】計器類などを取り付けた8mの制御盤。発電所などで使用されるという

皆さん、こんにちは。企業支援相談員の久間です。今回紹介する企業は、ウメザキシートメタル株式会社です。

この会社は、七ツ家に本社工場を、佐賀県伊万里市とみやき町にも工場を構えます。精密板金を得意とし、主に配電盤や操作盤などの各種制御盤、屋外ケースなどの製造、ステンレスやアルミの製缶加工などを行っています。

配電盤とは、大きな電力を分配するための計器類やスイッチなどを取り付けた装置のこと。この会社では、上の

【事業者情報】

- 本社所在地 = 七ツ家
970・1 ☎73・7657
- 資本金 = 1000万円
- 代表者 = 梅崎竜一
- 従業員 = 72人

写真のように発電所や空港などで使われるような巨大なものから、手の平サイズの小さなもので製造しています。

「配電盤は電気があるかぎり必要なもの。海外で使われることもあるため大手の企業から求められる品質はとも高く、難しさもありますが、とてもやりがいがあります」と梅崎竜一社長は会社の技術力に自信をみせます。

昭和49年に梅崎溶接所として社長の父、梅崎政信会長が創業。耕運機などの農機具の溶接や部品製造を手掛けていました。しかし、平成8年には現在の社名に変更。「安定した受注があり、機械化を進めるためにも、仕事の内容を思い切って変える決断をしました」と語る梅崎社長。「ただ、配電盤の製造は初めてだったので、私と専務の2人で配電盤を製造している企業へ修

行に行きました。期間も短くて本当に苦労しました」と笑顔で当時を振り返ります。

以前は、計器類などを収納するケースのみを製造していましたが、24年にウメザキテクノ株式会社というグループ会社を設立して、計器類などの設置や配線などもできるよう、事業領域を拡大。梅崎社長は「将来の目標はメーカーになること。配電盤などを一貫して製造できるような会社に育てていきたいですね」と瞳を輝かせていました。

久間のひとこと
「良い製品は優良な人材によってつくられる」という経営理念を会長からしっかりと引き継ぎ、社員とその家族が幸せになれる会社になりたい、梅崎社長の言葉が心に残りました。

【問】市商工振興課企業誘致・ベンチャー支援係 ☎77・8762